

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



食べ残しや、農林水産業への理解と地域でとれる農林水産物を積極的に消費する地産地消を進めるなど、環境に配慮した食生活の推進に取り組みました。

(1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践



食生活における環境への負荷の軽減のため、「もったいない」意識の浸透を図り、環境に優しい料理の実践促進に取り組みました。

給食における食べ残しを減らす指導

刈谷市教育委員会

●実施時期：通年

●対象者：小中学生

●内容

配膳時には、適量となるごはんの量を写真で提示しています。みんなが「プラスひとくち」を心がけます。

会食中に静かに食べる「もぐもぐタイム」を取り入れて、成果をあげている学校もあります。

児童会や生徒会が中心となって食べ残しを減らす活動に取り組む学校もあります。

●活動の成果、今後の課題

主食の食べ残しが減少しており、今後も継続的に取り組むことが必要です。

ごはんの量のめやす



3・4年生 およそ160g

(取組項目：子どもに対する環境負荷軽減の学習)

(取組場面：学校)

親子でエコ・クッキング

西尾市

●実施時期：平成27年8月19日

●対象者：市内の子と保護者

●内容

市内の子と保護者12組26名が参加し、愛知県産小麦の新品種「きぬあかり」の小麦粉、西尾の抹茶、地元の野菜などを使って、東邦ガス株式会社の協力により、食材を無駄なく使い、エネルギーや水を大切に、ゴミを減らすエコな調理で美味しく楽しく親子でエコ・クッキングを実施しました。



●活動の成果、今後の課題

今まで何気なくしていた洗いや物の仕方、ガスの火力、食材の調理法が、ちょっとしたことでエコに繋がることが分かりました。子どもたちも楽しみながらエコについて勉強できました。



(取組項目：環境に配慮した食生活の実践)

(取組場面：地域)

(2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進



農林水産業が持つ多面的な役割などの正しい理解と身近な農林水産物の消費や利用を促進するため、学校や地域などで県内産農林水産物の積極的な利用促進に取り組みました。

親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成27年8月20日

●対象者：県内の小学生親子

●内容

この取組は、学校給食で使用されている食材がどのようにして製造されているかを学習するもので、今年は、愛知県が全国シェア70%（全国第1位）を占め、子どもたちに大変人気のあるうずら卵について学習しました。

うずらのふ化農家や養鶏農家、うずら卵の缶詰工場の3ヶ所を県内の小学生親子16組32名が見学しました。

詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://aigaku.org/>



●活動の成果、今後の課題

うずらの誕生からうずら卵が製品になるまでを実際に目で見て学習することにより、学校給食の食材の過程や地場産物の知識を高めていただきました。

参加者からは、普段目にするのでできない工場内を見学できたり、うずら卵の製造過程がよくわかり、勉強になりましたなどの感想をいただきました。



〈取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進〉

〈取組場面：地域〉

小麦品種「きぬあかり」の普及推進

愛知県

●実施時期：通年

●対象者：県民

●内容

県農業総合試験場が開発したうどん・きしめんに適した小麦品種「きぬあかり」を「あいちブランド」として普及推進し、地産地消を進める取組を実施しています。

今年度は、昨年度に引き続き、ホームページにおいて、産地情報等を積極的に発信しました。

また、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、レシピコンテストの実施、PRグッズの作成・配布等及び交通広告によるPRを行いました。

●活動の成果、今後の課題

関係団体が主催する全国うどんサミットへの出展等を支援し、県民の方々にPRすることができました。また、レシピコンテストや交通広告を実施し、「きぬあかり」を見て、知って、食べてもらう機会を提供することができました。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

親子で楽しくクッキング！ ～しょくまるファイブと一緒に学ぶ バランスの良い食事～

刈谷市

●実施時期：平成28年1月31日

●対象者：市内在住の小学生とその保護者

●内容

刈谷の切干大根を使った料理の研究をしている愛知教育大学の西村敬子名誉教授を講師とし、刈谷の特産物である「切干大根」をメインの食材とした料理教室を開催しました。

レシピは、いろいろ食感白菜ロール（本年度開催の『究極のしょくまる包料理！～食まる5人をそろえよう～』コンテストグランプリレシピ）や、レタス包みチャーハン（同コンテストの準グランプリレシピ）です。

調理実習だけでなく、大根に関するお話も行いました。



●活動の成果、今後の課題

親子で楽しく一緒に調理を行い、地元の食材に親しみ、その調理方法を身につけていただくことで、親子のふれあいの活性化、地産地消の浸透に繋がったと思います。



（取組項目：青年期以降における地産地消の実践）

（取組場面：地域）

安城出身料理研究家 寺田真二郎さんによる地産地消推進イベント

安城市

●実施時期：平成27年8月2日、12月6日

●対象者：関心のある方

●内容

安城出身の料理研究家である寺田真二郎さんを招き、8月にクッキング&トークショー、12月に料理教室を開催しました。

安城市の特産品であるナシをすりおろして南蛮漬けに使用したり、きゅうりを餃子に入れたり、アイデア溢れる寺田さん考案のレシピで料理を披露・体験していただき、参加者にお楽しみいただきました。

また、そのレシピを安城市公式ウェブサイト「望遠郷」に掲載し、より多くの方に周知しました。



●活動の成果、今後の課題

参加者は市内外からの参加であったので、安城市の特産品のPRをするよい機会となりました。

また、「食」に関する興味を深めていただくことができました。



（取組項目：青年期以降における地産地消の実践）

（取組場面：地域）

和食の食文化をいただきます

西尾市

●実施時期：平成28年1月7日

●対象者：西尾市内在住在勤者

●内容

市内在住、在勤の35名が参加し、西尾市歴史公園内、尚古荘において地元食材を使った料理を食べながら、和食の食文化について学びました。食事後は、西尾の特産物である抹茶をいただきました。



●活動の成果、今後の課題

料理を作る講座は多いですが、和食の食文化について勉強する機会は少ないため、大変参考になりました。

西尾市歴史公園内、尚古荘を知っていただけたのも良かったです。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

へきなん美人レシピコンテスト

碧南市、碧南商工会議所、JAあいち中央碧南人参部会

●実施時期：平成28年1月30日

●対象者：市内外全ての人

●内容

「碧南人参の日」記念事業の一環として平成26年度より開催しています。碧南のブランド人参であるへきなん美人の特徴を活かしたレシピを募集し、集まったレシピの中から上位5作品の2次審査を行いました。

審査項目にて地産地消率を考慮することとなっているため、地元の食材に目を向けていただく良い機会となっています。



●活動の成果、今後の課題

最優秀賞受賞作品を産直に設置し、市民の方々へ周知しました。



〈取組項目：生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現〉

〈取組場面：地域〉

(3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底



農林水産業における化学肥料や化学合成農薬の低減や資源循環の推進、食品産業における食品リサイクルの推進など、生産・流通する側も「もったいない」意識を持って環境への配慮に取り組みました。

資源管理の取組の推進

愛知県

●実施時期：平成27年度 ●対象者：県内漁業者

●内容

水産資源を有効に利用するため、再生産と漁獲のバランスをとりながら資源を適切に管理することを「資源管理」といいます。

愛知県では、県内の水産資源を維持し有効に利用するため「資源管理指針」を作成しており、漁業者はこの指針に沿って「資源管理計画」を作成し、資源の有効活用を行っています。

平成27年3月には、新たにアサリ等の貝類を対象とした資源管理計画が作成され、4月から資源管理計画に基づく操業がスタートしました。

●活動の成果、今後の課題

アサリ等の貝類を対象とした資源管理計画ができたことにより、資源管理計画に参加する漁業者は千人を超え、県内の水産資源の有効利用が図られました。今後も、漁業者と協力し、水産資源を維持し有効に利用する資源管理を推進していきたいと思えます。



(取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用)

(取組場面：地域)

フードバンク活動応援募金

生活協同組合コープあいち

●実施時期：通年 ●対象者：コープあいち組合員

●内容

コープあいちでは、組合員の皆さんに『フードバンク活動のしくみと取り組みへの思い』を発信し、「フードバンク活動応援募金」を呼びかけています（取り組み期間11～3月）。

集まった募金は、セカンドハーベスト名古屋に全額寄付し、フードバンク活動の運営経費などにあてていただきます。

●活動の成果、今後の課題

1口100円と1口1000円の募金を呼びかけ、約470,000円の善意が寄せられています（2016年1月末現在）。



(取組項目：フードバンク活動の普及啓発)

(取組場面：地域)